

事業番号	282
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまき巡回バス運行事業						担当部	都市建設部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	都市政策課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	交通政策係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		22 都市交通		1 より効果的・効率的な公共交通ネットワークを形成します									
		副目的	22-2													
	予算区分	款	2		項	8		目	2		大	3		中	2	
	根拠法令・個別計画															
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	交通空白地域をカバーし、市民の公共施設へのアクセス手段を確保する。														
	内容 (手段)	<p>交通空白地域と主要施設を結ぶバスを運行する《8コース(バス8台)》ため、利用状況や市民のニーズを把握しコース設定やダイヤ編成などを行う。 平成23年10月から、65歳以上の料金を無料化した。 運行時間: 午前6時台～概ね午後8時台 《直近のコース・ダイヤの変更》平成22年4月 第2老人福祉センター(小針の郷)開設などに伴うコース・ダイヤを見直し。 《今後のコース・ダイヤの変更予定》 ・平成27年4月 西部、中部、北里、南部地区のコース・ダイヤの見直し ・デマンド交通実証実験後 北部、東部のコース・ダイヤの見直し</p> <p>【平成25年度直接経費の内訳】 こまき巡回バス運行委託料(139,923,021円) こまき巡回バス利用促進負担金(265,300円) 報償費(100,100円) 需用費(1,869,525円) 役務費(131,460円)</p> <p>【平成26年度直接経費の内訳】 こまき巡回バス運行委託料(143,000千円) こまき巡回バス利用促進負担金(300千円) 報償費(455千円) 需用費(2,300千円)</p>														
	受益者負担	有 巡回バス利用料金 大人1日200円 小学生1日100円 高齢者(65歳以上)・幼児無料 受益者負担総額13,365,500円														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	139,401	141,640	142,289	146,055	
		正職員	従事者数	人	0.35	0.35	0.35	0.35
			人件費	千円	1,841	1,841	1,841	1,841
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	141,242	143,481	144,130	147,896
	対前年比		%		101.5	100.4	102.6	
財源	一般財源	千円	122,042	129,902	130,765	134,896		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	19,200	13,579	13,365	13,000		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	1日あたり運行車両数 (平日)	台	目標	8	8	8
実績				8	8	8	
1日あたり運行車両数 (土日祝日)		台	目標	8	8	8	8
			実績	8	8	8	
			目標				
			実績				
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
年間利用人数	人	目標	318,000	358,000	365,000	372,000	
		実績	322,379	389,776	415,798		
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の達成状況	平成25年度については、65歳以上無料化の更なる周知により、前年度より年間利用者は約7%増加した。なお、65歳以上の利用者は、年間利用者数全体の約60%を占めている。	
	事業実施における課題	田県神社周辺などの味岡地区で住民から巡回バスの運行を望む声があるものの、運行台数やコースの状況により対応が出来ていない。交通空白地の解消に至っていない。運行目的も達成されていない。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	65歳以上の利用者は、全体の約60%にのぼるため、巡回バスを廃止した場合、高齢者や障がい者など交通弱者の移動手段を奪うほか、通勤手段としても利用されていることから、市民の日常生活に支障をきたす恐れがある。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	平成26年度における事業の改善・見直しは行わないが、市の中心部、西部及び南部においては、平成27年4月に巡回バスのダイヤ及び車両を含めた総見直しを行うための準備を進める。また、デマンド交通実証実験を行っている北部、東部については、その実証実験結果の検証も考慮して、総見直しを実施するための準備を進める。なお、総見直しの目標として、ダイヤに関しては、現行1時間半から2時間に1本を1時間に1本に、自宅からバス停までの距離は500m以内と掲げている。
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの
	判定理由	平成27年4月から巡回バスの見直しを予定し、コース・車両が増えるため拡大とする。	
	27年度以降の改善案	市の中心部、西部及び南部においては、平成27年4月に実施する巡回バス見直し以降、3年ごとにPDCAサイクルにより検証・評価を行い、運行計画の維持・見直しを検討する。また、デマンド交通実証実験運行の実施地区である北部、東部においても、平成28年以降に行う巡回バスの総見直し後は、3年ごとにPDCAサイクルにより検証・評価を行い、運行計画の維持・見直しを検討する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	拡大	一次評価のとおり。